

22 摩耗した路面標示の補修促進

1 路面標示の補修促進

【提案内容】

提出先 国土交通省

本県では、交通管理者である県警察と協同して、A I の活用により県内の路面標示の摩耗状況を点検し、そのデータを県内の道路管理者と共有の上、速やかな補修に繋げる「A I 技術により消えかけ白線ゼロ」を目指している。

摩耗した路面標示のうち、区画線は各道路管理者が補修するものであるが、着実に補修が進められるよう、補助対象となっている区画線の新設に加え、消えかかった区画線の補修も対象とするなど、国の補助制度を拡充するとともに、必要な予算措置を講じること。

◆現状・課題

交通管理者が設置・管理する横断歩道等や道路管理者が設置・管理する区画線は、交通の安全と円滑を図る重要な施設である。

消えかかった横断歩道等に対する苦情や要望も多く、県警察では予算を増額の上、補修を促進することとしているが、とりわけ財政力の弱い市町村では、十分な予算が確保できず、区画線の適切な補修が行えないことから、国による十分な支援が必要である。

◆実現による効果

A I の活用による情報共有と国の支援が強化されることにより、各道路管理者による区画線の速やかな補修が可能となり、安全で安心な道路環境が確保される。

また、区画線の適切な維持管理が行われることで、自動運転（運転支援）に必要な走行環境も確保される。

A I の活用による摩耗状況の把握



LKAS(車線維持支援システム)

(神奈川県担当課：県土整備局道路管理課)